

【出題のねらい】

ア 全般的なねらい

数と式，図形，数量関係などに関する基礎的，基本的な概念や原理・法則についての知識や理解力をみるとともに，それらを積極的に活用し，数学的な見方や考え方をを用いて，数式で表現・処理する力をみるために，各領域から幅広く出題した。

イ 各問いのねらい

- ① 標準的な計算を中心にして，各領域における基礎的な概念の理解の程度や，それらを適用する力をみる。
- ② 図を参考にして，長方形の辺，対角線，面積に関する条件を数式で表現し，数学的に考察し，処理する力をみる。
- ③ 問題文を正しく読み取り，与えられた条件を数式で表現し，これらを計算処理する力をみる。
- ④ 座標平面上で，四角形の条件を読み取り，直線や2次関数の式を求めたり，2本の直線を同時に動かして図形の面積の最大値を求め，図形的に総合的に思考し処理する力をみる。
- ⑤ 〔1〕基本的な作図を通して，平面図形の理解と論理的に考察する力をみる。
〔2〕2つの円と接線に関して，図形の性質を上手に利用して角の大きさや線分の長さを求めたり，円周角を使って角の二等分線を証明させたり，点の移動に伴う図形の面積の最大値を求めさせたりすることにより，総合的な思考力，表現・処理能力をみる。